



グラスショート[®]液剤で

クズを枯らそう!

〈2016年香川県現地試験:グラスショート液剤100倍処理〉



処理時 7月22日



処理後7日 7月29日



処理後18日 8月9日

上手な使い方〈クズ防除〉

散布最適期

散布適期

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
クズの生態		芽の伸長開始		展葉が始まる			生育が旺盛な時期						生育一時休止	生育再開			生育が止まる				
グラスショート液剤の散布時期							散布最適期			散布最適期						散布最適期		散布適期			

- クズの蔓の葉が茂り始めた*6月中下旬ごろの散布、再伸長をはじめる9月上中旬の散布が最適です。薬剤は葉や茎より吸収されますので、葉が重なる前に葉や茎に薬液が充分かかるように散布してください。
- なお、クズは主根や越年生茎にエネルギー(澱粉など)を貯蔵しており、再生してくる場合があります。再生してきた際には、葉の展開後に再度薬剤散布を行ってください。
- 水田畦畔や法面等に使用した場合、クズやイボクサのほか、ツユクサ、クサネム、ハコベ、ナズナ、シロザ、アオビユ、ブタクサ、イヌホオズキ、カラスノエンドウ、ヤハズソウ、オオオナモミ、コゴメガヤツリ、シロツメクサ、オオバコ、カタバミ、ギシギシ類、セリ、カラムシ、ヘクソカズラ、アサガオ類、アレチウリなどは枯殺します。ご留意の上、ご使用ください。



つるが2~5mくらい伸長し、葉が展開した頃が散布適期です。葉の表面が十分に濡れるまでしっかりと散布してください。

※背負い動噴の場合、本剤100mlを水10~20ℓに希釈して使用します。



クズ防除剤 **グラスショート** 液剤

除草剤分類 **2**

有効成分：ビスピリバックナトリウム塩…3.0%
人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

適用雑草と使用方法 (除草剤としての使用方法のみを抜粋)

2017年1月現在の登録内容

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	薬量	希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	ビスピリバックナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、運動場、宅地等	クズ	生育期	500mℓ～1000mℓ /10a	100～200ℓ /10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	3回以内
			生育初期(5～6月)	つる径 2.0cm以下 2.1～3.0cm 3.1～4.0cm 4.1～5.0cm 5.1cm以上	使用量(mℓ/株) 0.5 1.0 1.5 2.0 適宜増量		原液	
林木	林地							
水田作物(水田畦畔)	水田畦畔	イボクサ	生育期 但し、収穫前日まで	300～500mℓ/10a	50～100ℓ /10a		雑草茎葉散布	

■使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 展着剤の加用の必要はありません。
- 雑草の生育期に薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるようにしてください。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低減するので時期を失わないように散布してください。
- 公園、堤とう等において、体系で使用する場合、2回目の処理は、1回目処理後、40～50日後に実施してください。
- 散布後6時間以内の降雨は効果を減らすことがあるので、天候を見極めてから散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 低温下では効果の発現が遅れることがあります。
- 雑草の種類によっては効果が変動する場合があります。
- クズのつる注入処理をする際の注意事項
 - 処理位置は、株元から50cm以内とし、刃物などで外皮を木質部が見えるくらいに剥皮して、薬液が十分付着するように滴下してください。
 - 株頭が大きく、複数のつるが出ているものは、すべてのつるに薬液を処理してください。
- 水稲に直接かからないようにしてください。
- 幼穂形成期から乳熟期の水稲に飛散した場合、出穂、籾の品質に影響することがあるので、散布に当っては飛散防止ノズルを使用してください。
- 水稲以外の作物及び有用植栽木の茎葉部へ薬液が飛散した場合、葉の黄化、落葉、枯死等の被害が発生するので、田畑、果樹園などの周辺では流入、飛散に十分注意してください。
- 少量散布は専用ノズルを使用してください。
- 散布や調製に使用した器具・ホース等は水洗い、水通しをしてください。
- 公園、堤とうなどで使用する際の注意事項
 - 水源池、養殖池などに飛散、流入しないように十分注意してください。
 - 散布器具、容器の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■安全使用上の注意



- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当てを受けてください。
 - 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - 使用の際は保護メガネ、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
 - 公園、堤とう等で使用する場合には、小児や散布に関係のない者が作業現場に近づかないように配慮するとともに居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないように注意を払ってください。また散布後であっても、少なくともその当日は散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮してください。
 - 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
 - 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、養魚田周辺での使用には注意してください。
- 保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。

グラスショート液剤は水田畦畔の管理にもご使用できます。枯らさず(主にイネ科雑草)に生育を抑えるので、畦畔が崩れることを防ぎます。



水田畦畔・法面管理に2つの使い方

抑草剤

- 雑草の生育を抑え、畦畔管理の労力軽減ができます。
- 一年生の広葉雑草は故殺し、楽に草刈りができるようになります。



2014年広島県庄原市

2 WAYS!

2012年静岡県掛川市



クズや、つる性の広葉雑草を枯らします。

除草剤

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

2478(25-2)

